

令和 4 年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立東鷹高等学校全日制課程

自己評価					評 価 (総 合)
学 校 運 営 計 画 (4月)					
学校運営方針	人権教育を根幹に据え「りっぱな社会人を育てる」ことを学校運営方針とし、社会に必要とされる人材、社会に貢献できる人材の育成に努める。				A
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
【成果】	基本的な生活習慣の確立	挨拶のクオリティーアップ・気づきを高めた掃除の徹底			
生徒の特性に応じた	良好な人間関係づくり	教育相談や個別支援の充実			
進路指導	学力向上のための授業改善	ICTを活用した授業の工夫および観点別評価の工夫			
【課題】	動労観・職業観の育成と進路意識の向上	3年間の進路計画の作成、インターンシップの等のキャリア教育の充実			
基礎学力の更なる向上	地域に信頼される魅力ある学校づくり	学校行事や部活動の活性化、地域貢献活動への積極的参加			
	安全安心な学校づくり	いじめの早期発見・早期対応を心掛け、家庭との連絡・連携を密に行う。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題
学務	学力向上のための教育課程・授業改善	新学習指導要領に基づく教育課程を編成し、観点別評価を活用し学力向上を図る。 生徒の実態に応じた学び直しや基礎学力向上のためにICT機器等の効果的活用を推進する。	A	A	・観点別評価については、経験者が評価方法を伝えていくことで負担を軽減していく。 ・ICTを継続して活用することで学び直しや基礎学力を向上へとつなげていく。 ・学校の教育活動や魅力、取組を知ってもらうことで一定の受検者数を確保できた。 ・PTA主催行事を概ね実施できた。 ・必要な教員が必要な研修を受講できるように、校内研修の充実を図る。 ・ICTなどを活用した授業内容を教員間で共有できるようにしていく。
	円滑な学校運営に係る諸業務の充実	PTA・同窓会と連携し充実した学校行事を行うとともに、本校の魅力を外部へ発信する。 スクールエンジンの操作方法を周知するとともに、ICT活用の推進を図る。	A	A	
	職員研修の充実発展	各種研修会を計画的に実施する。 主体的・対話的で深い学びに向けた、創意工夫ある授業を充実させる。	A	A	
	生徒指導	全生徒が安心して学校生活を送ることができる生徒指導	他者が気持ちよく、勇気づけられる気持ちを込めた挨拶で、自信をつけさせる挨拶の指導。 立派な社会人を育てるための身嗜みを身につけさせる。	A	
	安心して過ごせる学校環境づくり	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の習慣化を図る。 快適な環境のもとで学校生活を送ることができるよう、校内美化活動を推進する。	A	A	
進路指導	生徒の第一希望進路の実現	明確な進路意識を持たせ、受験対策を早期から組織的に行う。 外部とも連携し、常に新しい情報が提供できるように環境を整える。	A	A	・進路実現に向け、課外や模試などの目的を理解させ、積極的に取り組ませる。 ・模擬試験の結果などの情報共有を図り、効果的に活用する。 ・生徒の進路意識をさらに高めることができるように指導の内容・方法を精選する。
	進路意識・職業観の育成	健全な生き方・あり方を考えさせ、職業観と進路意識を向上させる。 第一希望進路を実現するための計画的・体系的な進路体制の確立に努める。	A	A	
	人権・同和教育	人権文化あふれる学校づくり	差別事件を教訓化・教材化し、教師・生徒がともに考える人権・部落問題学習を展開する。 研修を充実させ、全教科・全領域での人権・同和教育を推進する。 「気づきシート」や健康診断などを通して得た情報を、関係職員で共有し、共通理解を図る。 必要に応じて保護者や外部機関・校内各部と連携を図り、実施可能な支援方法を検討する。	A	
1 学年	規律ある生活習慣の確立	「立ち止まって挨拶」、「チャイム席」、「5分前集合」を定着させる。 日常の清掃活動を徹底し、教室など身の回りの整備に努めさせる。	A	A	・頭髪等の気になる生徒に対し継続的な指導を行う。 ・趣旨を理解し自主的に行動できる生徒を育成する。 ・学習の仕方を伝え自ら学習できる力を育成する。 ・進路に対する意識を明確にさせたい。
	基礎学力の向上・充実	授業を中心とした学習習慣を確立させる。 学びの基礎診断や学び直しの時間(底力タイム)を通して学びに対する意欲を持たせる。	A	B	
2 学年	社会人として通用する態度・習慣の確立	「チャイム席」「10分前行動、5分前集合」「立ち止まって挨拶」を定着させる。 TPOに合わせた行動を実践し、周囲に配慮した言動をとることができるように促す。	A	A	・社会人として通用する自主的な挨拶を定着させる。 ・希望進路実現100%を目指し、学力・豊かな人間性を高める努力を行う。 ・進路実現のための学力の重要性を自覚させ、課外受講希望者・外部模試受験者を増やす努力を行う。
	効果的な進路指導の充実	課外授業への積極的な参加を促し、進路意識を高めるとともに、学力向上への意欲をもたせる。 進路情報の発信を積極的にに行い、自らの進路についての情報収集をする力を養う。	B	B	
3 学年	第一希望進路の実現	スタディサプリを活用し、希望進路実現に向けた学習のマネジメントを行う。 保護者と情報を共有し、進路実現に向けて連携を密にする。	B	A	・指導ではなく管理・支援によって生徒の学びに向かう力を伸ばす。 ・生徒が真剣になる場をたくさん提供する。 ・時間の厳守や挨拶の励行など、妥協しない指導。
	豊かな人間性の育成	生徒会役員を中心に、東鷹高校をリードできる学年集団づくりを目指す。 学校行事等を通して協調性を育み、コミュニケーション能力の向上を目指す。	B	A	
総合生活科	専門的な知識・技術の向上	年8回実施する社会人特別講師招聘事業により、効果的な授業展開を図る。 2冠王取得者20名以上、3冠王、4冠王取得者それぞれ1名以上を目指す。	A	A	・専門的な知識・技術の定着を図るため、生徒の実態に即した指導方法や対策を改善していく。 ・行事を通して学んだことを、様々な場面で生かす力を伸ばすため、指導方法の改善を図っていく。
	共に働きたい人材を育てる。	インターンシップ(5日間実施)を通して、正しい動労観、職業観を育成する。	A	A	
		総合生活科発表会等の生徒の主体的な活動を通して、責任感や協調性を培う。	A	A	

学校関係者評価	
評 価 (総 合)	自己評価は
A	A : 適切である
	B : 概ね適切である
	C : やや適切である
	D : 不適切である
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
A	時代や考え方の変化に伴い一定の受検者数の確保が大変な中、中学生の個別見学会やInstagramの広報活動等、新しい手段をもって学校の魅力を積極的に発信し、結果志願者の増加につながっているところが大変よいと感じる。
A	小さな事の積み重ねだが、挨拶することで人に好感を持たれることは、将来社会人として生きていく時に非常に役に立つと思う。校則の改定については、積極的に生徒の意見を聞きつつ取り組んでいただきたい。
A	進学一択とせず、多様な進路実現に向けて地域のニーズに応え、幅広い取組がよいと思う。
A	定期的に情報交換をすることは大変良い。そこから、人権意識をさらに高めてもらいたい。
A	進路に対する意識を明確にできる生徒が少なくなっている印象がある。進路決定のきっかけ作りを今後も検討してもらいたい。
A	進路実現に向けて生徒に見通しを立てさせるための仕掛け作りで高3の進路決定者から具体的な体験談を聞く機会を設定するなど工夫があり今後が期待される。
A	オープンキャンパスの参加や進路決定等について3年生の生徒がどのようなことを考えているか、学年便りなどあれば様子がわかるのでありがたい。
A	12月の発表会では生徒主体で学習の成果が見事に披露できていた。また本年度は、技術検定の結果が過去最高と聞いている。今後も特色ある教育内容を充実させてほしい。
評価項目以外のものに関する意見	
いじめや不登校などの生徒が増加している昨今、何とか学校での居場所ができるような受け皿や窓口対応の設置を今後お願いしていきたい。	

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ・学力向上プランの再考と3年間のキャリア教育の充実
- ・ICT機器を活用した教育のさらなる推進 (ICTを活用した授業改善及び情報活用能力の向上)
- ・校務分掌組織改編後の検証及びさらなる組織の改善及び工夫 (情報管理及び地域連携、地域探究に係る部署等)